



長野市赤十字奉仕団 芹田分団 委員長 松澤 宇喜

赤十字の創始者は、1901年に世界初ノーベル平和賞を受賞した、スイス人のアンリー・デュナンという方です。彼はイタリア戦争(1859年)で、犠牲者の悲惨な状況に衝撃を受け、「傷ついた兵士はもはや兵士ではない、人間である。人間同士、尊い命は救わなければならない」と訴え、これがきっかけで1863年に「赤十字」が誕生しました。また1877年には西南戦争の折に日本赤十字社の前身である博愛社が設立、1887年に日本赤十字社に名称を改めました。

赤十字奉仕団は、赤十字の平等や公平といった想いに賛同し、奉仕団活動を実践する人々で結成されたボランティア組織です。長野県内には各市町村(地区、区分)ごとに組織される77団体(約30,000人)、長野市内だと27地区(約4,000人)が活動しています。また芹田分団では11地区(約260人)、その内の正副班長等25人の奉仕団員が、災害時の炊き出し、防災啓発プログラムの研修、応急手当等の各種講習など、地域に根ざしたボランティア活動を行って居ります。



年間活動としては7月の善光寺清掃、9月の研修・講習会、10月の炊き出し訓練、赤い羽根共同募金を恒例とし、さらに NHK海外たすけあい街頭募金、赤十字病院救護訓練参加等、地区の独自性は若干薄いですが、その都度必要とされる諸々のボランティア活動に、出来る限りの協力をさせていただいて居ります。

ご存知のように芹田地区周辺には、裾花川と犀川が存在し、台風等で水位が上昇することもしばしばあります。不謹慎な発言ですが、この地区も災害に遭わない保障はありません。実際1949年9月22日に裾花川の堤防が決壊し、一帯が水に浸かったこと、「炊き出しに行ったよ」亡き母の言葉を思い出し、状況次第で怖くもなったりします。

災害が現実起こったり、予期せぬ事態に遭遇した時、果たして冷静な対応そして行動がとれるか? 赤十字奉仕団に5年在籍して尚、不安に思う時もあります。日々勉強をさせていただき、「いざ」の時、地域の皆様のお役に立てるよう、団員一丸となって訓練を積んでおります。

地域の皆様には今後とも、本団の活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。



2月5日 全国中学校スケート大会において おもてなし事業としてきのこ汁を提供(2枚とも)



芹田住民自治協議会だより

未来に向かって はばたく芹田

全国中学校スケート大会ウエルカム事業を実施しました 区長会

第39回「全国中学校スケート大会」が、2月2日から6日まで開催されました。

ビッグハットはフィギュアスケートの会場となり、芹田地区住民自治協議会では、2月5日(火)きのこ汁の振る舞いを行いました。

全国から選手、観客、競技関係者が大勢集まる大会に合わせて、歓迎の気持ちを温かい「きのこ汁」でおもてなしをしようと企画し、今年で3年目となりました。

当日は快晴に恵まれ、住民自治協議会役員や日赤奉仕団芹田分団及び地域活動男女共同推進委員会の協力を得て早朝から取り掛かり、大釜2つ約

700食を準備しました。食材はキノコほか全て県産品を使い、また一部を市内企業に提供していただきました。

午前11時半の振る舞い開始と同時に大勢のお客様が列を作って「きのこ汁」を召し上がり、開始から約1時間で用意したきのこ汁がすべて提供されました。大勢のお客様から「おいしい」「温まった」「ありがとう」の感謝の声をいただき、ウエルカム事業は今年も成功裏に終了しました。

ご協力いただいた関係者の方々、企業の皆様に感謝申し上げます。



芹田地区住民自治協議会のホームページ公開のお知らせ



芹田地区住民自治協議会のホームページを開いたしました。住民自治協議会からののお知らせ、イベントの情報、各区からののお知らせなどが掲載されており、スマートフォンでもご覧いただけます。

アドレスは次のとおりです。皆様からのアクセスお待ちしております。 ホームページアドレス <https://serita-area.jp/>



QRコードはこちら

芹田地区住民自治協議会主な審議事項(1月~2月)

- ① 平成31年度定期総会の日程について ③ 平成31年度役員会開催時刻等について
② 芹田地区住民自治協議会相談役について ④ 自治会活動保険について

内科・心療内科・精神科・呼吸器内科 循環器内科・消化器内科・歯科・小児歯科



診療時間 月～金曜日/8:30～12:30、13:30～17:00 土曜日/8:30～12:30 休診日 土曜午後・日曜・祝日

Table with 4 columns listing various services and locations like '特別養護老人ホーム 真鳥の里', '認知症対応型グループホーム 吉野の里', etc.

なんでも相談窓口 TEL.026-224-3961

FreeLife Warm Home advertisement featuring a building image, text about rental services, and a floor plan diagram.

Warm Home (だんけ) advertisement with text '頭も身体も元気になりたーい!!' and contact information for social welfare services.